

第2回京都こども文化会館あり方懇談会次第

日時：平成29年3月27日（月）

午後4：00～

場所：職員会館かもがわ第1会議室

1 あいさつ

2 議題

(1) アンケート結果等について

- ・ 会館の現状（資料1，2）
- ・ 利用者アンケートの結果（資料3）
- ・ 施設の改修等に要する経費（資料4）

(2) 今後のあり方について

- ・ 意見交換

(3) 次回懇談会について

京都こども文化会館の現状について

1 運営財団について

(1) 管理運営期間

昭和57年～現在

※ 平成19年以降は、3年ごとに、京都府指定管理者等選定審査会により選定され運営
(現運営期間：平成28年6月～平成31年6月)

(2) 効果的・効率的な管理運営に向けた取組

ア 子ども・青少年の優先利用

○ 利用調整

大ホール及び小ホールの本番利用は、1年前から予約を受付け、6箇月前に本申込の手続きをお願いしているが、こどもや青少年の利用と一般の利用が重なった時は、本申込みまでの間で、一般利用者に対して会館の設置趣旨等を説明し、こどもや青少年の利用を優先できるよう利用調整を実施。

この場合に、一般利用者も日を変えて利用していただけるよう声を掛けている。

○ 料金減免

類似施設の中でも低廉な料金を設定したうえで、高校生以下のみで使用する場合は小ホール創造活動室の利用料金を半額に減免。

○ 利用者支援

上演経験に乏しい子ども・青少年のため、豊富な知識と経験を有した技術職員やスタッフが音響・照明等できめ細やかな支援を実施。

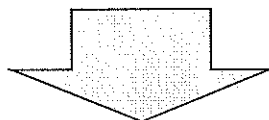
イ 利用勧奨の取組

○ 子ども・青少年

高校への利用勧奨のほか、京都市内の大学に対し、サークルへのパンフレット配布依頼に加え、学内交響楽団への利用勧奨を実施。

○ 新たな利用者の確保

地域団体やシニア講座を開設している京都SKY大学に対し、利用勧奨を実施。



<効果>

人権学習の新規利用を1件確保したものの、希望の曜日が合わない、立地の問題、収容数が少ないといった理由で利用を断られるなど、大きな効果は認められなかった。

ウ 積極的な情報発信

○ ホームページでの情報発信

従来、電話のみであった空き状況について、28年度から、会館ホームページで概ね6箇月先まで公開。大学サークルによる大ホール利用実績あり。

○ フェイスブックでの情報発信

主催する催しやエンゼルこども文化教室の取組について、28年度から、フェイスブックで情報を発信。

エ 経費節減の取組

○ 運営体制の見直しによる人件費の抑制

3年間の間に、常務理事を非常勤化したうえ、不補充としている。舞台担当職員は退職後、嘱託（再任用）へ切替え。

※ 現体制：職員2名＋嘱託職員3名

○ 物件費の抑制

施設管理、保安警備等の委託業者の選定は入札対応にする（平成14年度から）とともに、26年度からはコスト比率の大きい高圧電力を新業者にするなど、コスト削減に努めている。

2 他施設との比較

資料2のとおり

京都こども文化会館の利用状況等に関する調査について

1 調査概要**(1) 目的**

京都こども文化会館の利用団体等に対し、利用状況に係るアンケート調査を実施するとともに、収客数が多い団体等を中心に、個別ヒアリングを実施。

(※併せて、コンサート等企画運営会社からの聞き取りを実施)

(2) 調査期間

平成29年3月3日(金)～平成29年3月13日(月)

(3) アンケートの回答状況

79団体・個人／115団体・個人(回答率68.7%)

2 調査結果**(1) 利用状況**

79団体中52団体が「もっぱら京都こども文化会館を利用」を選択。

(2) 他に利用している施設

近隣の「北文化会館」「文化芸術会館」のほか、交通の便の良い「呉竹文化センター」や「ロームシアター京都」等のホールを利用。

(3) 利用する主な理由

「これまでも利用しており慣れ親しんでいるから」が最も多く、続いて「1年前から仮予約ができるから」、「近かったから」「料金が安かったから」が続く。

(4) 今後の利用希望

78団体中58団体が「再度利用したい」を選択。

(5) 休館時等の対応

「他会館を利用する」が最も多い。「他の施設の利用は難しい」を選択した団体についても、現時点では具体的に検討できていない事例がほとんどであり、一部近隣の利用団体からは遠方になると事業内容の見直しが必要との意見があった。

(6) 利用していない主な理由

回答数が少ないため、省略。

(7) 今後のあり方について(自由記載)

今後の方向性について、この施設が青少年にとって文化に触れる機会を提供する場となっていることを踏まえてしっかり検討願うといった施設の継続利用希望の意見のほか、現施設の使い勝手に関する改善要望等が記載されている。

3 結果を踏まえた分析

(1) 施設利用団体の状況

- アンケート調査では約66%の団体が「もっぱら京都子ども文化会館を利用している」と回答し、74%が「再度利用したい」としている。その理由として「これまでも利用しており慣れ親しんでいるから」、「1年前から仮申し込みができるから」、「料金が安い」といったことのほか、48%の団体が「近かったから」を理由にしている。

(2) 交通アクセスの状況

- 京都子ども文化会館は利用できる公共交通アクセスが市バスのみで、駐車場もなく、交通の便が他施設に比べて不利な条件にあることから、利用率が駅等に近接する他の類似施設のものと比較して低位にとどまっていることを踏まえると、現状においては、今後新たな利用団体の広がりは見込みにくい。
- 交通アクセスに関する主な意見は次のとおり。
 - ・ 施設の建て替えやリニューアルを行ったとしても、現在の立地条件では利用者の増加は見込めず、施設に将来はない（広域的に活動している団体）
 - ・ 交通の便が悪い（京都市以外に拠点を置く団体）
 - ・ 交通アクセスに不便はない、施設が利用できなくなるのは困る（施設近隣の利用団体）
 - ・ コンサート等の会場選定には、施設の利用料よりも交通アクセス等の立地条件を重視する傾向がある（コンサート等企画運営会社）
- 京都子ども文化会館への交通アクセスが他施設と比べて不利な条件にあること、施設利用者の減少傾向が止まらず、ピーク時（平成6年度）と比較して52%の減となっていること等を考慮すると、この間に比較的施設近傍の団体を中心に利用団体の固定化が進んだことが窺える。

(3) 施設の規模等について

- 施設の規模等に係る評価については意見が分かれるが、これはイベントの内容や集客規模に応じて、利用団体がその都度会場を選択していることによるものと考えられる。京都子ども文化会館の大ホールの特徴として、他施設に比べ、舞台の奥行きに余裕があることから、多人数が舞台上にあがるバレエや合唱で使用する団体で評価が高い。
- 施設の規模等に係る主な意見は次のとおり。
 - ・ 舞台や舞台袖の広さ、客席からの見やすさなどは他の施設と比較して良い方で、使いやすい（バレエ、合唱関係団体）
 - ・ 大ホールの座席数約600は多すぎる（単独利用の発表会等実施団体）
 - ・ 大ホールの座席数約600は少なすぎる（複数団体合同のコンクール等実施団体）
 - ・ 収益を見込むイベントでは、1,000人規模の会場でないと採算がとれない（有料公演実施団体）
 - ・ 最近では300人程度の規模のイベントが多い（コンサート等企画運営会社）

(4) その他

- 休館など、施設が利用できなくなった場合の対応として、現時点で約60%の団体が他の施設を利用すると回答。
- 他方、他の施設を利用するのは困難だと回答している団体は、主に施設近隣の団体であり、幼稚園など遠距離の移動が困難なケースなどが挙げられているが、現時点では具体的に検討できていない事例がほとんどである。
- また、近隣の学校、バレエや合唱等で利用する団体からは、耐震工事を行い、安心して利用できることを希望する旨の意見があった。

京都こども文化会館の利用状況等に関する調査まとめ

問1 京都こども文化会館の利用状況を教えてください。

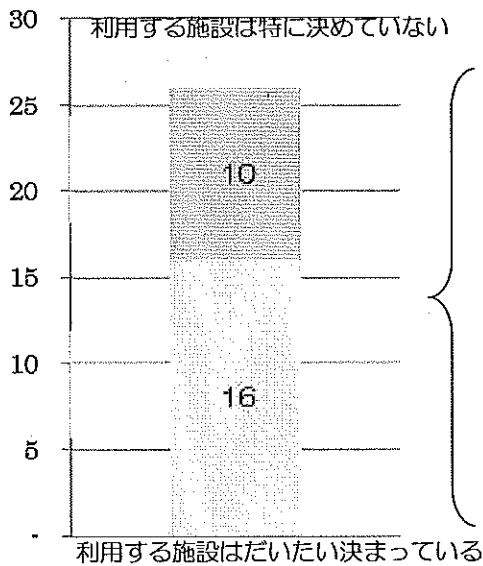
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ① もっぱら京都こども文化会館を利用している | } → 問2に進んでください |
| ② 他の施設を利用することもある | |
| ③ 他の施設を利用することが多い | |
| ④ 過去に利用していたが、現在は利用していない | } 現在利用されている施設名を教えてください(複数可) |

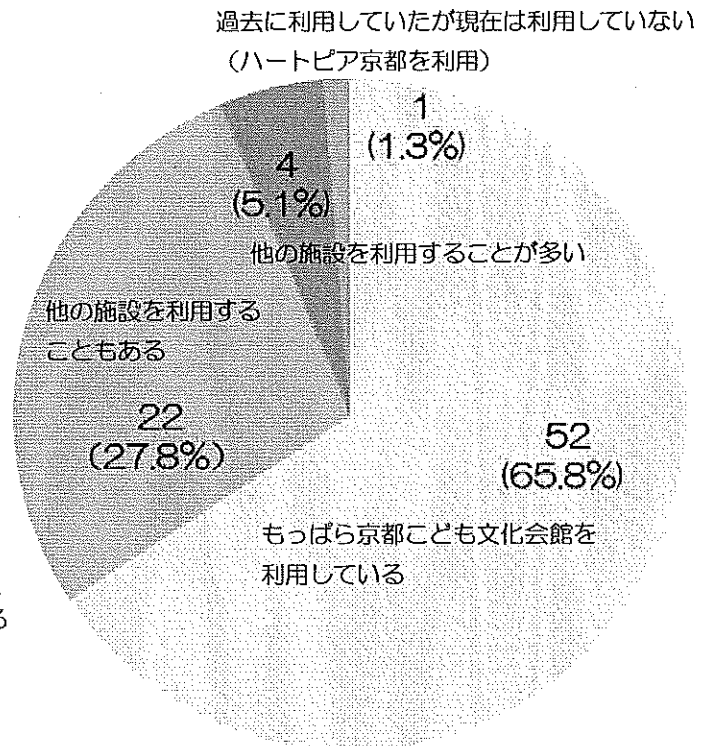
問2 他に利用されている施設について教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 利用する施設はだいたい決まっている
(施設名: _____) |
| 2 利用する施設は特に決めていない |

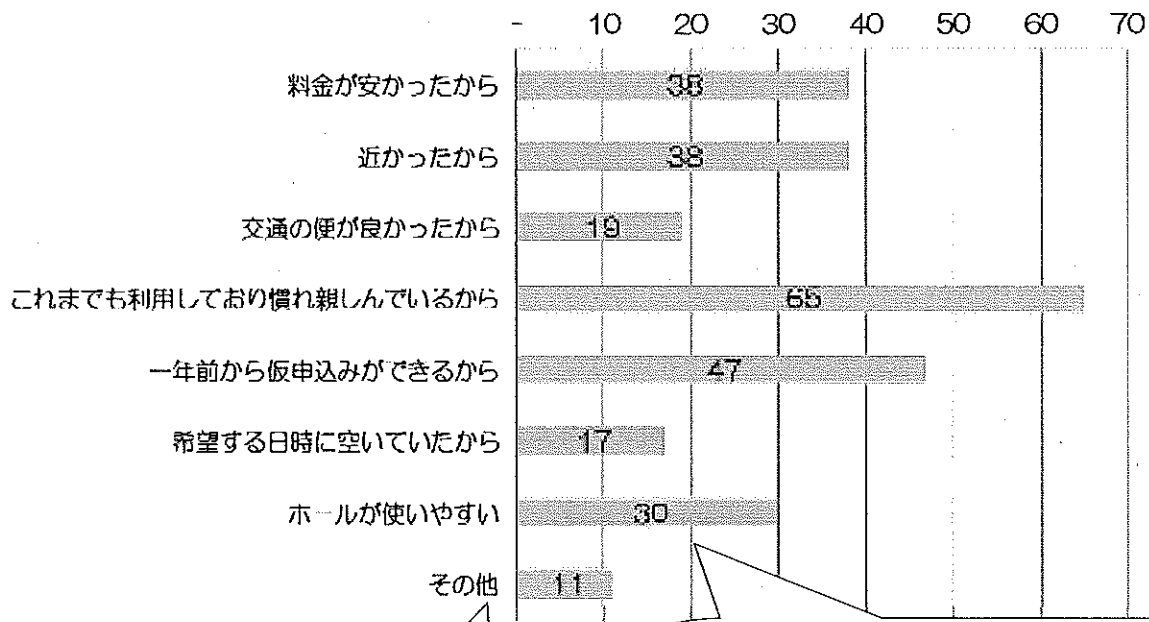


例：北文化会館、文化芸術会館
呉竹文化センター
ロームシアター京都
長岡京記念文化会館



問3 京都子ども文化会館を利用いただく主な理由を教えてください。
 (あてはまる番号に○をつけてください。) ※複数回答可

- 1 料金が安かったから
- 2 近かったから
- 3 交通の便が良かったから
- 4 これまでも利用しており、慣れ親しんでいるから
- 5 一年前から仮申込みができるから
- 6 希望する日時に空いていたから
- 7 ホールが使いやすいから
 (具体的に：)
- 8 その他 ()



主な意見

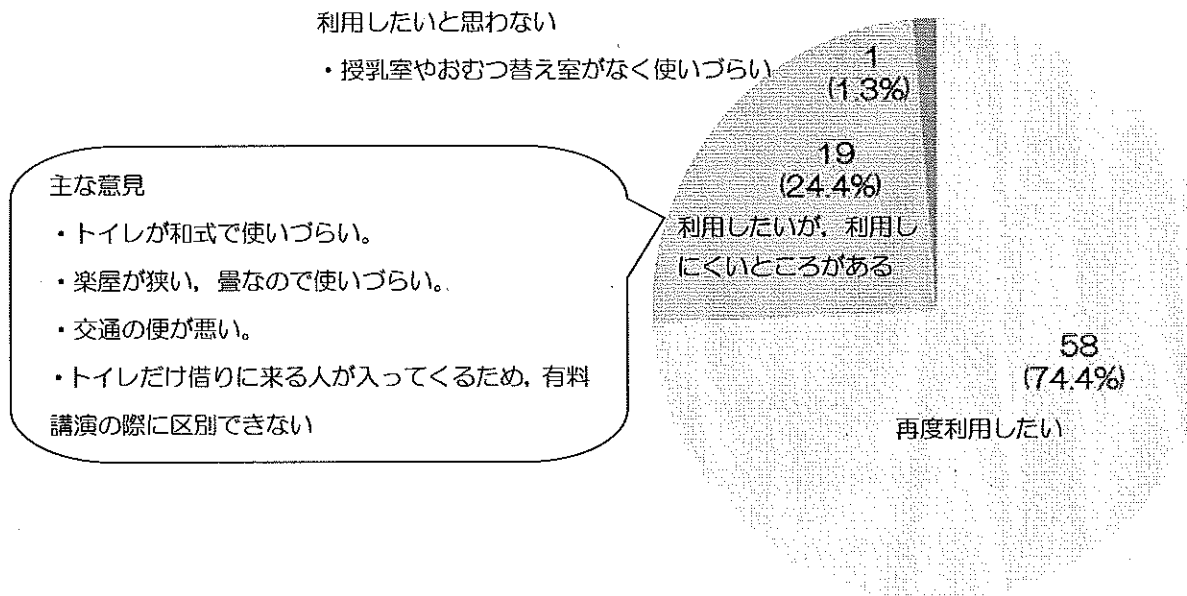
- ・スタッフが丁寧・親切
- ・駐輪スペースがある

主な意見

- ・ホールの規模(600人)が適切である
- ・ステージに奥行きがあり、長方形で使いやすい
- ・楽器の搬入がしやすい
- ・会場内がバリアフリーである
- ・ロビーが広いので人が滞留しづらい。

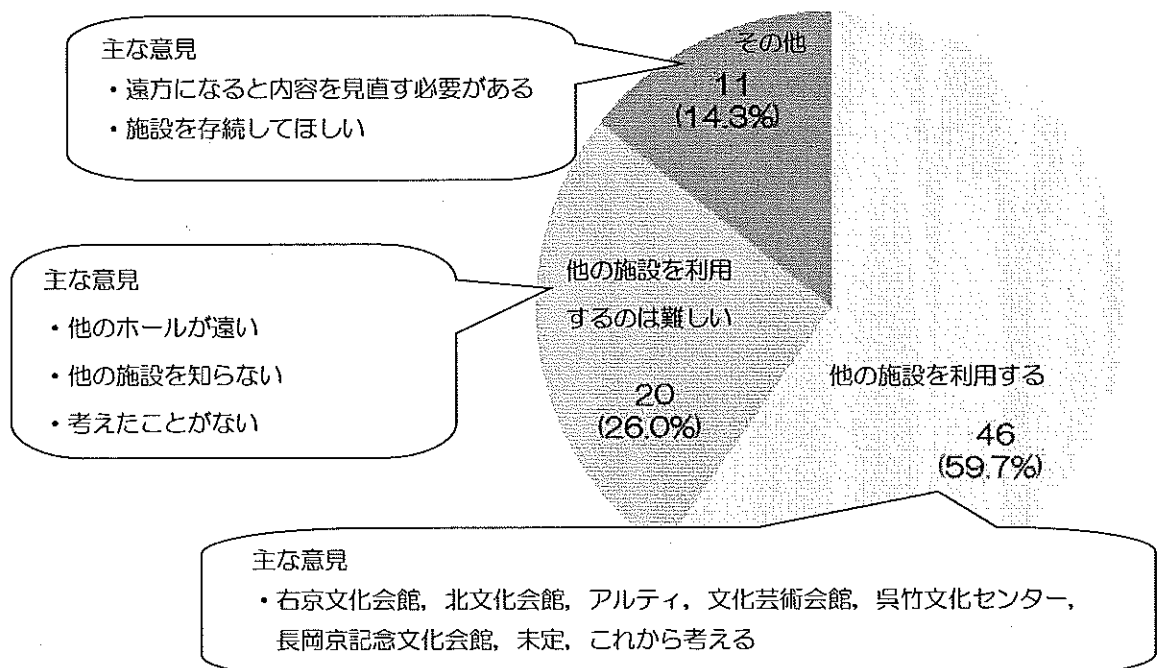
問4 今後も利用したいと思いますか。2, 3の場合は, その理由も教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- 1 再度利用したい
2 利用したいが, 利用しにくいところがある
(具体的に:)
3 利用したいと思わない
(理由:)



問5 耐震性能不足や老朽化等により休館するなど, 施設が利用できなくなる可能性も考えられますが, その場合の対応について教えてください。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

- 1 他の施設を利用する (施設名:)
2 他の施設を利用するのは難しい (理由:)
3 その他 ()



問6 利用していない主な理由について、教えてください。

(あてはまる番号に○をつけてください。) ※複数回答可

- | | | |
|----|---------------------|---|
| 1 | 他ホールよりも料金が安い | |
| 2 | 場所が遠い | |
| 3 | 交通の便が悪い | |
| 4 | 職員の対応やサービスが悪い | |
| 5 | 駐車場がない | |
| 6 | 予約手続きがわかりにくい | |
| 7 | 希望する日時に空いていない | |
| 8 | ホールが使いにくい
(具体的に： |) |
| 9 | 施設の老朽化が気になる | |
| 10 | その他 (|) |

<回答数が少ないため省略>

参考回答数1：交通の便が悪い，駐車場がない

問7 今後の施設のあり方について、御意見があれば記入してください。

<主な意見>

今後のあり方に関するもの

- ・耐震工事を行い、安心できる形で利用をできることを希望する。
- ・交通の便が悪く、きれいにリニューアルしてもあの立地であれば将来はない。
- ・休館や方向性が固まれば、速やかに教えていただきたい。
- ・休館等のタイミングについて、関係機関としっかり調整してほしい。

施設の使い勝手の改善に関するもの

- ・トイレが和式であり、使いづらい。
- ・座席間隔が広くなればありがたい。
- ・楽屋と客席を結ぶ道があればありがたい。
- ・楽器を運べるエレベータがない。
- ・駐車場の台数を増やしてほしい
- ・館全体が暗いので、もっと明るくしてほしい。

その他

- ・施設のアピールが足りない。

施設の改修等に要する経費

1 概要

① 建設後34年が経過し、施設の老朽化が著しい

I 機能上問題なし : 昇降機

※ 「戸開走行保護装置の設置」、「昇降路内及びピット内の耐震対策」は既存不適格

II 劣化が始まっている : 屋根, 外壁, 内部

III 劣化が進んでいる : 空調

IV 機能喪失している : 電気, 給排水衛生

② 耐震補強が必要

Is 値 最小0.301 最大2.63

主なフロア別診断結果: ピロティ, ロビー, 小ホール 最小 Is 値 0.301

大ホール(客席及び舞台) 最小 Is 値 0.55

楽屋・機械室 最小 Is 値 0.47

2 改善に要する費用

(1) 建替えに要する費用

約21億円

※他ホール建設費を参考とした概算費用

(参考: 京都子ども文化会館の昭和57年の建設費1,320,430千円)

(2) 修繕に要する費用

約10億円

ア 大規模改修費用: 約7.8億円

① 改修経費

(単位: 千円)

	要改修設備	所要額	要改修設備	所要額
早急に改修が必要なもの	大ホール空気調和機更新	13,400	屋上キュービクル	24,700
	屋上防水更新	14,500	非常用蓄電池改修	9,400
	ピアノオーバーホール(2台)	3,700	時計オーバーホール	7,400
	小計		73,100	
近々改修が必要なもの	大ホール冷温水器更新	51,100	大ホール照明設備	21,200
	大ホール吊りもの・反響板	10,800	大ホール音響調整卓	26,700
	大ホール音響設備(前回改修III年度)	80,000	小ホール照明設備改修	37,800
	小計		227,600	

② その他の改修等費用

※類似例として府立文化芸術会館改修に要した経費 (単位: 千円)

工事項目	所要額	工事項目	所要額	工事項目	所要額
建築主体工事	231,092	電気設備工事	82,540	衛生設備工事	71,280
空調設備工事	35,400	昇降機整備工事	15,120	建物調査診断	41,524
小計					476,956

イ 耐震化工事: 約2.2億円(床面積1㎡当たり50,000円とした場合)

※東京都耐震ポータルサイトの耐震改修費用の目安より算出